

新河岸川・白子川河川整備計画 (変更原案)

説明資料

令和 4 年 3 月 29 日

1 流域及び河川の概要

- ・新河岸川・白子川の概要

2 河川整備の現状と課題

- ・過去の水害発生状況
- ・河川の整備状況

3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

4 パブリックコメントの実施結果

1 流域及び河川の概要

- ・新河岸川・白子川の概要

2 河川整備の現状と課題

- ・過去の水害発生状況
- ・河川の整備状況

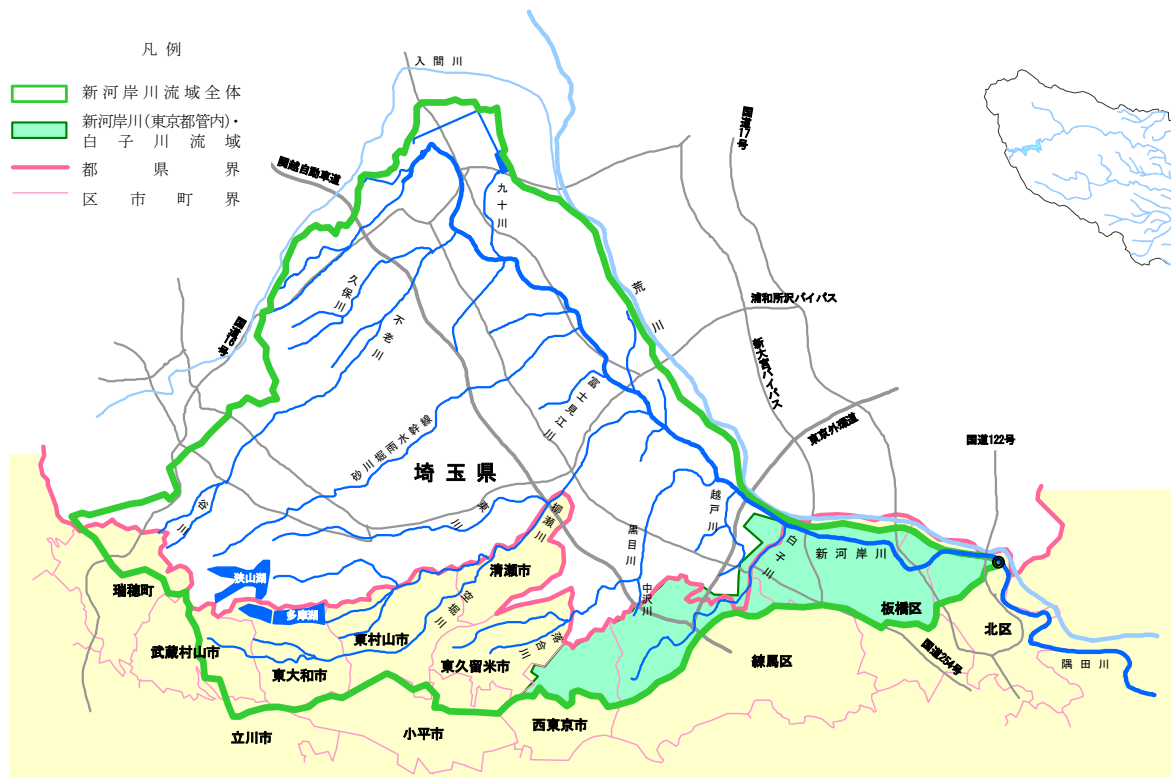
3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

4 パブリックコメントの実施結果

流域及び河川の概要

- 新河岸川は、狭山丘陵を最上流に持ち、川越市など埼玉県南西部から途中、柳瀬川や黒目川、白子川などの支流を集めて東京都板橋区を流下し、北区志茂で隅田川に合流する流域面積411km²の一級河川である。
- 新河岸川の支流である白子川は、東京都練馬区の大泉井頭公園の七福橋を起点として公園の湧水から流れを発生し、埼玉県和光市内に入ってから板橋区との都県境に沿って流下し、板橋区三園で新河岸川に合流する流域面積25km²の一級河川である。



新河岸川・白子川流域位置図



	新河岸川		白子川	
	流域全体	東京都区間 (※2)	流域全体	東京都区間 (※2)
流域面積	411 km ² (※1)	109 km ² (※3)	25 km ²	22.2 km ²
流路延長	34.6km	9.3km	10.0km	8.5km

※1 村山・山口貯水池流域21km²を含む。
 ※2 東京都施行区間を示す。
 ※3 東京都管内の各支川の流域面積を含む。

1 流域及び河川の概要

- ・新河岸川・白子川の概要

2 河川整備の現状と課題

- ・過去の水害発生状況
- ・河川の整備状況

3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

4 パブリックコメントの実施結果

- 新河岸川流域では、昭和33年9月の台風22号（狩野川台風）などで広範囲に水害被害が発生した。
- 近年では昭和57年9月12日の台風18号の際に北区浮間一丁目及び板橋区舟渡四丁目付近で河川の溢水被害が生じている。
- 新河岸川の下流部、隅田川への合流点付近は、地盤の低い東部低地帯に位置しており、高潮、洪水、地震に伴う津波などによる水害リスクが高い。

新河岸川の水害記録

年月日	原因	浸水面積 (ha)	被害棟数			雨量 観測所	時間最大 雨量 (mm/hr)	日雨量又は 総雨量(mm)
			床下	床上	合計			
昭和49年7月21日	集中豪雨	2.4	126	18	144	練馬	31.0	91.0
昭和52年8月18日	集中豪雨	9.6	238	50	288	赤塚	31.5	133.5
昭和53年4月6日	集中豪雨	4.7	69	42	111	赤塚	38.0	66.0
昭和56年10月22日	台風24号	15.2	168	17	185	赤塚	30.0	168.0
昭和57年9月12日	台風18号	39.3	102	182	284	赤塚	52.0	162.0
昭和58年6月10日	集中豪雨	4.8	63	17	80	赤塚	34.0	36.0
平成3年9月19日	台風18号	0.93	59	30	89	高島平	33.0	151.0
平成5年6月21日	集中豪雨	2.79	46	48	94	志茂橋	72.0	74.0
平成16年10月9日	台風22号	1.03	22	23	45	赤塚	36.0	196.0
平成17年9月4日	集中豪雨	0.82	37	45	82	赤塚	91.0	191.0
平成21年8月9日～10日	台風9号	0.33	46	16	62	志茂橋	100.0	108.0
平成23年8月26日	集中豪雨	0.31	21	17	38	志茂橋	68.0	78.0



新河岸川西台橋付近の増水
(平成3年9月19日台風18号)

河川整備の現状と課題

-河川の整備状況-

- 新河岸川の防潮堤及び護岸の整備状況は9割強となっている。
- 東日本大震災を契機として、将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震に対応するため、新河岸川の隅田川合流部付近において、堤防の耐震対策を実施している。



防潮堤（川側からの視点）



防潮堤（陸側からの視点）

河川整備の現状と課題

-河川の整備状況-

- 管理用通路の整備や護岸の親水化、沿川の緑化など、河川環境の向上を図っている。
- 新河岸川の管理用通路は未設置区間を一部に残すが、下流側では主として専用の通路、上流側では共用道路で整備されており、管理用通路の桜並木や嵩上げして遊歩道とした箇所などの親水整備が進められている。



小豆沢河岸広場
(板橋区小豆沢四丁目付近)



新河岸川の旧河道のワンドに整備された舟渡水辺公園
(板橋区舟渡四丁目付近)

1 流域及び河川の概要

- ・新河岸川・白子川の概要

2 河川整備の現状と課題

- ・過去の水害発生状況
- ・河川の整備状況

3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

4 パブリックコメントの実施結果

地震水害対策（新たな計画策定に伴う変更）

令和3年12月に策定した

「**東部低地帯の河川施設整備計画（第二期）**」に基づき対策を実施

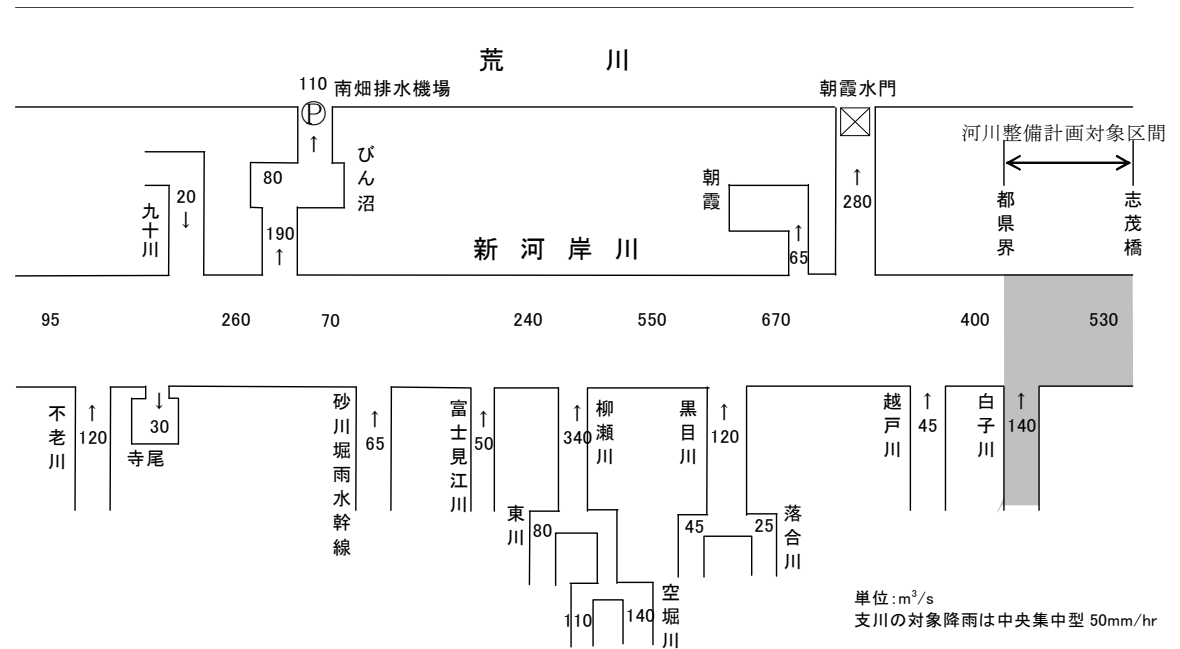
- 将来にわたって考えられる最大級の強さをもつ地震に対して、防潮堤の機能を保持し、津波等による浸水を防ぐために、耐震対策事業により防潮堤の耐震性を確保していく。



新河岸川 整備箇所図

洪水対策（変更なし）

- 洪水による災害発生防止又は軽減に関しては、新河岸川は、新河岸川流域全域の計画である「新河岸川流域整備計画」（新河岸川流域総合治水対策協議会）に基づき、河川施設（河道、調節池等）及び流域対策（雨水流出抑制施設等）により昭和57年9月実績降雨（245.7mm/2day）規模により生じる洪水に対して安全であることを目標とする。



新河岸川 流量配分図

高潮対策（変更なし）

- 高潮による災害発生防止又は軽減に関しては、昭和34年の伊勢湾台風と同規模の台風が、東京湾及び主要河川に対して最大の被害をもたらすコースを進んだときに発生する高潮（A.P.+5.1m）に対して、安全であることを目標とする。



堤防整備の様子（北区浮間五丁目付近）

1 流域及び河川の概要

- ・ 隅田川流域の概要

2 河川整備の現状と課題

- ・ 過去の水害発生状況
- ・ 河川の整備状況

3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

4 **パブリックコメントの実施結果**

パブリックコメントの実施結果

< 意見聴取の実施概要 >

- 実施期間 : 令和4年2月1日～3月4日 (4週間)
- 実施方法 : 原案の公表、リーフレットの配布
- 実施場所 : 都庁河川部、都・建設事務所 (2箇所)、流域区 (2区)、都HP
※都・市町広報への掲載、HP・Twitter・Facebookでの情報提供により周知

< 提出意見 (総括) >

- 河川環境に関する事 3件

合計3件

パブリックコメントの実施結果

寄せられた主な意見と回答（抜粋）

主な意見	回答（案）
◆環境に関すること	
<p>長期間をかけて、水害対策、地震対策、親水整備等を進めて頂き、日ごろから感謝しております。変更計画では「コンクリ護岸の補強」で陸側の「コンクリートの増厚」が計画されています。歩行位置から見上げるような護岸は都市河川の宿命ですが、歩行側の嵩上げによる景観向上などは、可能な個所に限られ、費用も増嵩します。そこで、歩行側の護岸コンクリートに、費用は若干、上乘せされますが、塗装を施し、圧迫感を和らげることができないか、提案します。清掃工場の煙突に水色系の化粧を施し、上空の景色に溶け込む施策が見られますが、それに似たことができればと思います。美しくすることで、護岸への落書きも減る効果があると推測します。以上、ご検討いただければ幸いです。</p>	<p>東京都では、平成23年3月の東日本大震災を契機として、平成24年度から堤防の耐震対策を実施しています。その際、耐震対策に合わせてコンクリート堤防の表面に落書き防止塗料を施しております。落書き防止塗料は、コンクリートの素材色と比較し明度が高いため、塗装前よりも圧迫感の減少効果があると考えられます。</p> <p>引き続き、河川環境に配慮して耐震対策を進めてまいります。いただいたご意見については、今後の河川整備の参考にさせていただきます。</p>

パブリックコメントの実施結果

寄せられた主な意見と回答（抜粋）

主な意見	回答（案）
◆河川利用に関すること	
<p>整備計画の中で、新河岸川については、従来から、河川環境の整備と保全として、①管理用通路、護岸の緑化等、②親水性を確保するための取り組みの整備をめざしていくとしています。</p> <p>拠点整備候補地の一つである舟渡四丁目地区においては、近々河川沿いに大規模な開発が予定されています。この土地利用転換の機会を捉え、本地区での拠点整備の実現に向けて、民間事業者及び地元自治体がめざすまちづくり等と東京都が連携し、関係機関の事業に引き続き協力していただきますようよろしくお願いいたします。</p>	<p>新河岸川では、親水性を確保するための取組として、まちづくり等との連携や地元自治体の公園等の計画を考慮するとともに、関係機関の事業との調整を図り、一定規模の拠点的な整備を検討しております。</p> <p>いただいたご意見にある船渡四丁目地区については、本河川整備計画課における、拠点整備の候補地となっております。引き続き、まちづくりと連携し、親水性のある河川空間の整備を進めてまいります。</p>